



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月8日

上場会社名 株式会社ユーザベース 上場取引所 東  
 コード番号 3966 URL http://www.uzabase.com

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (共同経営者) (氏名) 稲垣 裕介  
 梅田 優祐  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営財務企画担当専門役員兼CF0 (氏名) 村上 未来 (TEL) 03-4533-1999  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績 (平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する四半期 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	5,431	71.2	267	△45.5	105	△76.9	△140	△131.6	△594	△252.7
29年12月期第3四半期	3,173	45.6	491	88.5	457	93.0	445	108.4	389	113.9

※EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 △396百万円 ( —%) 29年12月期第3四半期 397百万円 ( 103.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	△20.04	—
29年12月期第3四半期	13.48	12.33

- (注) 1. 当社は、平成29年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合、平成30年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
2. 平成30年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	16,676	5,352	25.6
29年12月期	4,408	1,819	41.1

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 4,270百万円 29年12月期 1,812百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	97.1	1,000	68.0	650	19.1	350	△32.5	350	△20.1	11.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期の業績見通しにつきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、平成30年7月2日発表時の予想を変更しております。詳細は、平成30年11月8日に公表いたしました「特別利益の発生及び通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 2社(社名) 株式会社NewsPicks Studios 除外 1社(社名)  
 Quartz Media, Inc.
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	30,587,131株	29年12月期	29,300,040株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	72株	29年12月期	72株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	29,658,422株	29年12月期3Q	28,884,818株

(注) 当社は、平成29年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合、平成30年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。期末発行済株式数及び期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社を取り巻く経営環境につきましては、国内情報サービス業の売上高規模は平成29年においては11兆3,216億円（前年比3.0%増加）と6年連続で成長を続けております（経済産業省「特定サービス産業動態統計調査（平成30年3月公表）」）。また、スマートフォンの個人保有率は平成29年において60.9%（前年比4.1ポイント増）と普及が進んでいます（総務省「平成29年通信利用動向調査」（平成30年5月公表）」）。更に、スマートフォン広告の市場規模は平成29年において8,317億円と前年比で128.4%と拡大しています（株式会社D2C、株式会社サイバー・コミュニケーションズ（CCI）、株式会社電通の共同調査「2017年 日本の広告費 インターネット広告媒体費 詳細分析（平成30年3月公表）」）。

このような環境の下、当第3四半期連結累計期間においては、既存事業の売上高が引き続き堅調に推移したこと、また、平成30年7月に買収した米国のQuartz Media, Inc.（以下「Quartz社」という。）が連結範囲に含まれたことなどが業績に反映されております。その結果、売上高は5,431,557千円（前年同期比71.2%増加）と大幅に増加しております。また、既存事業において堅調に収益を獲得する一方、Quartzを始めとした新規事業が投資フェーズにあることからEBITDAは267,858千円（前年同期比45.5%減少）、営業利益は105,850千円（前年同期比76.9%減少）となっております。さらに、NewsPicks USA, LLCにおける先行投資による持分法投資損失の影響などにより、経常損失は140,834千円（前年同期は445,836千円の利益）、Quartz社の買収に要した買収関連費用の影響などにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は594,255千円（前年同期は389,232千円の利益）となりました。

## ① 「SPEEDA」事業

「SPEEDA」サービスの既存顧客による契約IDの追加及び事業会社による新規導入を中心に国内外において販売は堅調に推移し、当第3四半期末におけるID数は2,428ID（国内2,145ID、海外283ID）となり、当サービスにおいては増収増益を達成しております。

また投資フェーズである「entrepedia」「FORCAS」においては、計画通り成長のための先行投資が進みました。

以上の結果、当該事業の当第3四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は2,851,850千円（前年同期比36.5%増加）、セグメント利益は344,716千円（前年同期比5.4%減少）となりました。

## ② 「NewsPicks」事業

国内「NewsPicks」サービスにおいては、知名度の向上、自社によるオリジナルコンテンツや外部メディアからの優良な記事の配信を通じて会員ユーザー数（注1）、有料課金ユーザー数（注2）共に順調に増加し、有料課金売上が増加いたしました。また、スマートフォン向けの広告サービスに対する需要も高く、広告売上も増加しました。国内「NewsPicks」サービスの当第3四半期末における会員ユーザー数は3,588千人、有料課金ユーザー数は81,839人となり、増収増益を達成しております。

なお、当第3四半期連結会計期間よりQuartz社が「NewsPicks」事業の連結範囲に含まれました。当第3四半期連結会計期間において、同社は営業赤字となっております。広告売上を主とした同社の売上高は第4四半期会計期間に集中する傾向があり、買収後の業績推移としては現状想定通りに進んでおります。また同社の買収に伴って発生したのれんの償却費を計上しております。

以上の結果、当該事業の当第3四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は2,600,827千円（前年同期比139.6%増加）、セグメント損失は238,865千円（前年同期は92,917千円の利益）となりました。

（注）1. 会員ユーザー数は、「NewsPicks」サービスに会員登録（簡易登録含む）しているユーザーの総数（延べ人数ではありません。）を指します。

2. 有料課金ユーザー数は、「NewsPicks」サービスに会員登録しているユーザーのうち、月額有料サービスを利用しているユーザー数（延べ人数ではありません。）を指し、プレミアム会員及びアカデミア会員によって構成されます。プレミアム会員とは「NewsPicks」オリジナル記事や海外の有料媒体の記事等が閲覧でき、アカデミア会員はプレミアム会員のサービス内容に加え、各界著名人による特別講義の受講、「NewsPicks」選定のアカデミア書籍（毎月1冊）の提供等を受けることができます。なお、プレミアム会員はiOS月額1,400円又はiOS以外のプラットフォーム月額1,500円（学割プランは月額500円）、アカデミア会員は月額5,000円です。

3. 前連結会計年度において開始したアカデミアプランは、開始初年度における立上りの状況を開示する目的で会員数を開示して参りましたが、第1四半期連結会計期間より非開示といたします。当連結会計年度に開始したアカデミアゼミ（一定期間において少人数形式で講義を受講できるプラン）等、コ

コミュニティ形成に資する多様なプランを検討しており、アカデミアプランは当該一施策として継続し、引き続き会員数の拡大を図って参りたいと考えております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比較して12,268,269千円増加し、16,676,977千円となりました。これは主に、流動資産において現金及び預金が前連結会計年度末と比較して2,305,585千円増加したこと、固定資産において当第3四半期連結会計期間にQuartz社の買収に伴うのれんを8,128,271千円計上したこと等によるものであります。

### (負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して8,734,987千円増加し、11,324,253千円となりました。これは主に、固定負債においてQuartz社の買収に伴い新たに借入を行ったこと等により長期借入金が前連結会計年度末と比較して6,877,764千円増加したこと等によるものであります。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して3,533,281千円増加し、5,352,723千円となりました。これは主に、Quartz社の買収に伴う新株式発行及び新株予約権発行等により前連結会計年度末と比較して資本金が1,376,043千円、資本剰余金が1,465,823千円、新株予約権が609,329千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、平成30年7月2日発表時の予想を変更しております。詳細は、平成30年11月8日に公表いたしました「特別利益の発生及び通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,217,254	5,522,840
受取手形及び売掛金	320,428	1,536,467
その他	198,645	249,154
貸倒引当金	△3,735	△26,126
流動資産合計	3,732,593	7,282,336
固定資産		
有形固定資産	50,848	412,457
無形固定資産		
のれん	118,298	8,332,484
その他	8,985	19,894
無形固定資産合計	127,283	8,352,378
投資その他の資産	497,982	629,805
固定資産合計	676,114	9,394,641
資産合計	4,408,707	16,676,977

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	183,964	258,263
1年内償還予定の社債	—	60,000
1年内返済予定の長期借入金	202,601	496,868
未払法人税等	84,415	150,831
その他	1,061,811	2,164,174
流動負債合計	1,532,792	3,130,137
固定負債		
社債	—	210,000
長期借入金	1,054,408	7,932,172
資産除去債務	—	40,034
その他	2,064	11,908
固定負債合計	1,056,472	8,194,115
負債合計	2,589,265	11,324,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,328,889	2,704,933
資本剰余金	191,338	1,657,161
利益剰余金	286,881	△307,374
自己株式	△102	△102
株主資本合計	1,807,006	4,054,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	403
為替換算調整勘定	5,581	215,100
その他の包括利益累計額合計	5,581	215,504
新株予約権	6,854	616,183
非支配株主持分	—	466,417
純資産合計	1,819,442	5,352,723
負債純資産合計	4,408,707	16,676,977

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	3,173,339	5,431,557
売上原価	1,423,486	2,443,928
売上総利益	1,749,853	2,987,629
販売費及び一般管理費	1,292,511	2,881,778
営業利益	457,341	105,850
営業外収益		
違約金収入	6,564	—
その他	2,543	5,093
営業外収益合計	9,107	5,093
営業外費用		
支払利息	6,388	20,109
持分法による投資損失	7,307	184,722
その他	6,916	46,946
営業外費用合計	20,612	251,778
経常利益又は経常損失(△)	445,836	△140,834
特別損失		
買収関連費用	—	262,195
特別損失合計	—	262,195
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	445,836	△403,029
法人税、住民税及び事業税	72,213	169,296
法人税等調整額	△18,786	42,511
法人税等合計	53,427	211,808
四半期純利益又は四半期純損失(△)	392,409	△614,837
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3,177	△20,582
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	389,232	△594,255

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	392,409	△614,837
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	403
為替換算調整勘定	2,736	210,434
持分法適用会社に対する持分相当額	2,353	7,335
その他の包括利益合計	5,090	218,173
四半期包括利益	397,499	△396,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	394,322	△376,082
非支配株主に係る四半期包括利益	3,177	△20,582

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、Quartz Media, Inc. の買収に際して第三者割当による831,295株の株式の発行を行いました。これらを主要因として、当第3四半期連結累計期間において資本金が1,376,043千円、資本剰余金が1,465,823千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,704,933千円、資本剰余金が1,657,161千円となっております。

(会計方針の変更)

「従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い」(実務対応報告第36号 平成30年1月12日。以下「実務対応報告第36号」という。)等を平成30年4月1日以後適用し、従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引については、「ストック・オプション等に関する会計基準」(企業会計基準第8号 平成17年12月27日)等に準拠した会計処理を行うことといたしました。

ただし、実務対応報告第36号の適用については、実務対応報告第36号第10項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、実務対応報告第36号の適用日より前に従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与した取引については、従来採用していた会計処理を継続しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	「SPEEDA」事業	「NewsPicks」事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,088,672	1,084,666	3,173,339	—	3,173,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	100	800	900	△900	—
計	2,088,772	1,085,466	3,174,239	△900	3,173,339
セグメント利益	364,423	92,917	457,341	—	457,341

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「SPEEDA」事業セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に、株式会社ジャパンベンチャーリサーチを連結子会社化したことに伴い、のれんが131,442千円増加しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	「SPEEDA」事業	「NewsPicks」事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,851,850	2,579,706	5,431,557	—	5,431,557
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	21,120	21,120	△21,120	—
計	2,851,850	2,600,827	5,452,678	△21,120	5,431,557
セグメント利益又は損失(△)	344,716	△238,865	105,850	—	105,850

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

「NewsPicks」事業セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に、Quartz Media, Inc.を連結子会社化したことに伴い、前連結会計年度の末日に比べ、セグメント資産が10,946,741千円増加しております。

なお、取得原価の配分が完了していないため、当該セグメント資産の金額は暫定的に算定された金額であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「NewsPicks」事業セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に、Quartz Media, Inc.を連結子会社化したことに伴い、のれんが8,128,271千円増加しております。

なお、取得原価の配分が完了していないため、のれんの金額は暫定的に算定された金額であります。